

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (甲信越)		衣料品専門店（経営者）	・秋冬物の準備が始まるので、良くなる。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・季節の変わり目で亡くなる方が増えてきて、商売としては非常に有り難い。
		スーパー（経営者）	・8月のお盆あたりからやっと忙しくなってきた、12月前半までは忙しい。9月1～3日は3日連続でコンサートイベントがあるので、8月末の夜の会議はキャンセルして体調管理に努めている。9日には秋祭りや商工会議所からの仕出し注文もあり、13～22日まではイベント、15、17日は敬老会と予定が多く、9月も無事にこなしたい。
		観光型ホテル（支配人）	・天候不順、猛暑や雨不足による農作物の不作など、不安材料はあるものの、秋の宿泊予約はおおむね良好である。
		都市型ホテル（支配人）	・繁忙期という季節要因もあるが、今後も複数のコンサート等のイベントもあるので、曜日に関係なく安定した宿泊が見込まれる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・フリーの利用客が徐々にではあるが回復傾向にある。また、予約にも動きが見え始めている。今年度当初からみると大きく動きが出始めているので、今後に期待ができる。
		遊園地（職員）	・今後も新規施設やイベント実施等により、引き続き多くの来園客を期待する。
		商店街（代表者）	・まだ秋のシーズンなので、もうしばらくは前年並みでいける。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・必要な物は買う状況にあっても、不必要なものへの消費意欲はみられない。相変わらず、先行きは見えない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・猛暑が一段落して、夏物商材の販売は落ち着くが、一般商材の動きは、ある程度良くなってきているので、少しは明るい見通しになっている。
		百貨店（営業担当）	・この数か月の客の動きをみていると、特に変わったところはなく、これといって景気が良いという感じは見られない。現状のままで推移する。
		スーパー（経営者）	・所得が増えているわけではなく、6月以降の好調の反動が出そうである。
		スーパー（経営者）	・気候によって大きな変動がある。
		スーパー（副店長）	・今月も前年比で約100%と、大きなブレはない。今後2～3か月先も、大きく上がることも下がることもないとみている。ただ、今年は大型台風が多く、農作物に被害がなければ良い。
		コンビニ（店長）	・今月は天候が良い方に働いてくれたので、現状維持になっているものの、今後、特別、良くも悪くもなる条件は、今のところはないので、特段変わらない。
		家電量販店（店長）	・年々、来客数が減少している。客単価向上を試みているが、現状では改善していない。
		乗用車販売店（経営者）	・新型車発表イベントは乏しいものの、消費税増税前の買換え需要もあり、新車販売は堅調に推移するとみている。
		乗用車販売店（経営者）	・ガソリン価格の高値安定などもあり、自動車関係の消費は余り伸びないとみている。
		一般レストラン（経営者）	・涼しくなるのはまだ先で、猛暑が続く。
		スナック（経営者）	・今月まあまあ良かったので、このままでいてもらいたい。
	スナック（経営者）	・お盆休み明けは、売上も大分落ち込んだが、週が変わって、多少、客が戻ってきている。また、9月は企業の異動の時期にも当たるので、歓送迎会などに多少は期待できると思うが、全体的には余り変わらない。	
	観光型旅館（経営者）	・秋は団体の行楽客が主となるが、年々団体客の予約が減っている。また、団体の規模も小さくなる傾向であるため、現状と変わらず、やや悪い状態が続くとみている。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・この先、良くなる、悪くなる要素のいずれも見当たらないので、変わらない。	
	旅行代理店（副支店長）	・猛暑や台風による農作物の不作が懸念され、今後の農家の動きが心配される。一方で、企業の社員旅行や研修旅行などの需要は増加しつつある。ただし、今後の台風の発生状況や猛暑の状況によっては旅行中止などが心配される。	
	タクシー運転手	・乗務員が高齢化し、辞めていく者が多くなった。かといって、新人も入らないので、しばらくは1人、2人と乗務員が減っていく状態である。	
	通信会社（経営者）	・インターネット映像サービスの低価格化が進んでおり、これからも厳しさが予想される。	

	ゴルフ場（経営者）	・立て続けに来る台風の多さと予報により、予約の減少やキャンセルが相変わらず続いている。シニア層は、健康面で夏のゴルフを敬遠することが常態化しそうである。
	ゴルフ場（経営者）	・しばらくは団塊世代前後の消費に依存できる。
	美容室（経営者）	・秋のイベントの出席者を集計しているが、出席者の申込みが遅れて、なかなか規定の人数に達しない。7～8月は、来客数が増えたが、その反動で予約が減っている。
	設計事務所（経営者）	・計画物件はあるが、すぐに進められる状況ではない。
	商店街（代表者）	・異常気象の影響で、今後の農作物の収穫に影響が出そう で、秋の商戦が心配である。
	百貨店（店長）	・夏の猛暑の影響や、平成30年7月豪雨の被害報道の影響もあると思うが、来客数が少ない。特に、百貨店の客層には高齢者が多く、連日の猛暑の影響は非常に大きい上に、客の購買意欲も低い。
	コンビニ（経営者）	・10～11月にかけては、特にイベントも少なく、売れる商材も余りなく、季節的に非常に落ち目である。今年も例年同様にならざるを得ないと判断している。
	コンビニ（エリア担当）	・コンビニ業界としては、現在のビジネスモデルの破たんが近づいており、業態の変革が迫られている。コンビニに近いスーパーマーケットやドラッグストア等に勢いがある。コンビニもスーパーマーケット、ドラッグストアに近い業態に変化させることと、人員を削減しても営業できる業務改善が必要だが、その改善が遅く、経営者、本部共に、疲弊し、衰退の一途をたどっている。
	自動車備品販売店（経営者）	・日経平均株価が軟調であり、「米国大統領の政策は、近隣の輸出製造業への影響が大きい」という声が増えてきている。
	一般レストラン（経営者）	・他の業種が良くなったからといって、飲食業界にそのまま反映される世の中ではなくてきている。消費者の嗜好の変化スピードについていくことが難しくなっている。
	住宅販売会社（従業員）	・高齢化により、別荘に来られないオーナーが増加している。
	× 一般レストラン（経営者）	・大手チェーン店出店による客の流れ、猛暑疲れ等がある。この先は常連客に期待するものの、その他に良くなる材料はない。
	× スナック（経営者）	・我々の仕事は、競争相手がすごく増えている。そのなかで、良い要素が全く見当たらないので、悪くなる。
企業 動向 関連 (甲信越)	-	-
	食料品製造業（営業統括）	・先日開催した国産ワインコンクール受賞ワインの利き酒会には、全国から多くのバイヤー、ソムリエ、一般消費者等が多く集まり、にぎわっていた。9月以降の伸びが大いに期待できる。
	食料品製造業（総務担当）	・原材料の収穫は、やや良いという観測が出ている。目先の原材料確保も少しずつできてきているので、やや良くなる。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・季節商材受注は望めるものの、商品PRなどを打っても反応はなく、先の見通しは読めない。ワークショップなどの依頼は、多少は望める。
	一般機械器具製造業（経営者）	・受注量に大きな変動はないが、外国為替相場の先行きが不透明である。
	電気機械器具製造業（経営者）	・大きくは変わらない。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・新規受注が少ない。
	その他製造業 [宝石・貴金属]（経営者）	・卸の業況は一向に改善されていない。展示会を開いても高額品が売れない。この低調な状況はしばらく続きそうである。
	建設業（経営者）	・資材の値上がりはあるが、猛暑が過ぎれば受注できるとみている。
	金融業（調査担当）	・米中の貿易問題の行方が懸念されるものの、製造業を中心に底堅い受注が続く。また、夏季ボーナスなどの所得増が、個人消費の下支えになる。
金融業（経営企画担当）	・住宅建築業者は消費税増税前の駆け込み需要の期待が薄く、2～3か月先の売上見通しは不変としている。電気機械、デバイス、電子部品、情報通信機械、自動車部品関連を取引先としている企業は、やや増加の見通しとしている。織物関連業者は、ネクタイ地など一部の品目で受注増の動きがみられるものの、全体としての見通しは不変としている。	
新聞販売店 [広告]（総務担当）	・経済見通しでは、景気回復が続くとされているが、小売商店主の間では回復の実感すらない。運送会社の総務担当者は「前年に比べ燃料費用負担が重くなってきている」と話している。	

	*	*
	x	食料品製造業（製造担当） ・最低賃金の引上げにより、総合的に厳しくなり、1円1銭で争っているところは、本当に追い込まれる。
	x	出版・印刷・同関連産業（経営者） ・毎月の資金繰りが大変である。
雇用 関連 (甲信越)	-	-
	職業安定所（職員）	・パートを含む全数の新規及び有効求職者が、前月より大きく減少しており、下げ幅が広がっている。一方、新規及び有効求人数は前月に引き続き、高い水準にある。また、どちらも前年同月比で、12%前後の増加となっている。
	人材派遣会社（営業担当）	・買物客をみているとポイント3倍時や、ガソリン価格の安い時に車列ができて道が混雑している。当たり前かもしれないが、客は余計な物を購入していないか、無駄が多いかもしれないと考えているようで、景気は上向かない。
	求人情報誌製作会社（経営者）	・人手不足が慢性化しているなかで、現状の従業員で少しでも効率上がる方法を考え、長期的に会社をアピールしながら募集をしている。
	職業安定所（職員）	・求人は増加傾向にあるものの、未充足による更新求人も多い。また、原材料費や燃料費の上昇から、先行きの見通しに、慎重さもうかがえる。在職求職者が増加したが、応募に関しては、慎重で、動きは鈍い。
	職業安定所（職員）	・就職面接会への参加を希望する企業は多く、採用意欲は依然として高い。しかし、企業から受注等が大幅に増加したという話は聞かないことから、横ばいあるいは若干良くなる程度と見込んでいる。
	民間職業紹介機関（経営者）	・希望者の多い正社員求人は増加傾向にあるものの、パート社員不足での対応のようである。しかし、正社員の採用基準に変化がないため、充足できない会社が多い。
	-	-
	x	-